

## 開 講 予 定 科 目

	科目名	担当者	単位	視聴回数	教科及び教職に関する科目/講習内容	定員
①	教育心理学特論	教育学部教授 吉村啓子	1	90分 × 全10回	<p>教育の基礎的理解に関する科目</p> <p>教育心理学の基本的な知識の学びなおしを、「学習活動」「被教育者の特徴」「教育効果の評価と測定」の3つを中心に学習し、教育における心理学的な効果を理解する。</p>	80
②	幼児教育特論	教育学部准教授 椋田善之	1	90分 × 全10回	<p>道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目</p> <p>幼児教育の基礎的理論と教育方法・実践技術を学んだ上で、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方を深める。</p>	80
③	保育内容（環境）	教育学部准教授 椋田善之	1	90分 × 全10回	<p>保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>環境領域の観点から子どもの育ちを考え、保育者はどのように援助していけばよいかを理解する。また、保育実践の具体例と展開方法や情報機器及び教材の活用を知り、保育構想の向上に取り組む。</p>	50
④	保育内容（言葉）	教育学部教授 吉村啓子	1	90分 × 全10回	<p>保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>言葉に対する感性を豊かにする実践をはじめ、言葉の発達と保育者の援助について理論を交えた演習を行う。また、児童文化財の文化的な背景を解説し、それらを活用できるような演習も行う。</p>	50
⑤	保育内容（総論）	教育学部准教授 下里里枝	1	90分 × 全10回	<p>保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>『幼稚園教育要領』などを用いて、実際の保育・幼児教育の関連と全体的な構造を理解する。さらに、社会的背景及び歴史の変遷等を踏まえ、保育の多様な展開について具体的に理解する。</p>	50
⑥	障害児保育特論	教育学部准教授 松本恵美子	1	90分 × 全10回	<p>大学が独自に開講する科目</p> <p>障害のある子ども達のよりよい発達を支援するため、障害種別にその障害の特性と教育法について学ぶ。また、保護者・家族へのサポートについても学習する。</p>	80
⑦	保育相談支援特論	教育学部准教授 松本恵美子	1	90分 × 全10回	<p>大学が独自に開講する科目</p> <p>保育相談支援の理論と実際を、事例を通して体験的に学習し、保育者に求められる保護者支援の方法と技術を実践的に理解し、支援対象者の状況や心情等について理解を深める。</p>	80
⑧	保育内容（人間関係）	関西保育福祉専門学校 藤井和子	1	90分 × 全10回	<p>保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>「人と関わる力」を乳幼児期にどのように育む必要があるのかを具体的な事例を通して学ぶ。さらに「領域・人間関係」を実践例を基に「グループ討議」を行いその内容を深め、保育の実践力を高める。</p>	50
⑨	音楽（伴奏法）	教育学部准教授 島川香織 関西保育福祉専門学校 榎本優人	1	90分 × 全10回	<p>領域に関する専門的事項</p> <p>「弾き歌い」につながる歌唱・理論を背景とした伴奏法の演習を行う。拍子・調・和声等を理解した上で、適切な伴奏及び伴奏変奏ができるようになる。子どもの豊かな表現活動を導くための即興演奏ができるようになる。※教材費別途</p>	40
⑩	保育内容（表現・造形）	教育学部准教授 大西洋史	1	90分 × 全10回	<p>保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>幼児の造形について取り扱い、幼児の造形作品を鑑賞したり、造形に関する研究に触れたりすることを通して幼児理解を進めるとともに、幼児と造形の関わり及び活動の意義を学ぶ。</p>	40

※各講義、スクーリングを1～2回予定しております。

※スクーリングは、対面またはZoomによるオンラインでの参加となります。

現在、日程は調整中ですが、原則、土日または平日18：30～の開講となります。